

## 柳ヶ浦地区まちづくり懇話会会議録（要約）

と き：平成29年10月30日（月）午後7時～午後8時40分

ところ：柳ヶ浦小学校 体育館

出 席：

（市 側） 市長、総務部長、市民生活部長、福祉保健部長、経済部長、教育次長、消防長、建設水道部長

（事務局） 秘書広報課長、企画財政課長

（柳ヶ浦地区） 17名

進 行（秘書広報課長）

1. 市長あいさつ
2. 出席者自己紹介
3. 前回（平成27年度）出された質問等に対するその後の対応状況報告（総務部長）
4. 市政報告（総務部長、教育次長、消防長）  
総合計画など主要施策の進捗状況について「まちづくりレポート」に基づき説明を行う
5. 意見交換会

### 意見①

学校前の道路は幅員が4m50くらいしかない。通学路になっており、中須賀住宅から芳賀建設までの路肩が危険な状態になっています。区長によると、市には要請をしていると聞いています。今の進捗状況はどのようになっているのでしょうか。現地に来て見てもらっているのでしょうか。

### 回 答

小学校の南北の道路は要望をたくさん伺っており、いつ実施するかは、ここ1年2年という計画ではないと思います。柳ヶ浦には下水道をつくる時の地元の方からの条件をいただいおり、加えられていたと思いますので、いつかというのはわかりませんが、計画的に整備していく路線の1本に入っていますので、特に危険、路肩が壊れているところがあれば順番とは別に緊急に担当を行かせて調査させたいと思っています。

### 意見②

要望書を土木課あてに出しています。その時の話では市単独では工事費もかかるので非常に難しいということで、国、県の補助事業にのせていきたいと聞いています。実際、国、県、市の実施計画にのせて早急な取り組みをお願いしたいと思います。特に通学路になっており、毎日子どもたちが通っています。路肩がくえているのが一番心配になります。天候の悪い日、車が中央部を通ると避けなければならないので早急な対応をお願いします。

回 答

路肩については早急に調べて担当に対処するようにします。

意見③

柳ヶ浦小学校の運動場は給食センターを壊して広くなりました。地域の人が野球やソフトボールをするのに使用しますが、バックネットの設置が計画されているのかどうかお聞きしたい。計画に入っていないければ入れて設置していただきたい。

回 答

具体的な計画はありません。今日、要望を受けて検討していきたいと思います。

意見④

都市計画についてですが、柳ヶ浦駅の整備事業をするようになっていますが、宇佐市では有人の駅というのは柳ヶ浦駅だけになっています。新聞等でも見ますと大分市でも、鶴崎駅や大在駅が無人化になると聞いてびっくりしました。柳ヶ浦駅も無人化になるのではないか、有人駅で残すようにJRに交渉してほしいと思います。

回 答

柳ヶ浦駅が無人化にならないように働きかけをしてほしいと要望がきています。市としても柳ヶ浦駅には無人化にならないよう望んでおり、かけあっているところです。大分市では8駅無人化になるということで、いろんな監視ができるカメラをつけるなど設備をするそうです。ある程度の乗降客がないと設備投資効果がでないということで、ある程度の乗降客がいるところを無人化で動いているようです。この辺で、乗降客が著しく少ないところが無人化となっているという状況です。市としては宇佐市の玄関として、無人化にならないよう積極的にJRに働きかけを行っていききたいと思っています。

意見⑤

ポリテクセンターの回答がありましたが、平成の森公園改修終了後ということですが、いつ頃になるのでしょうか。神子山の歩道が狭くて一段高くなっている。高齢化が進むと、自転車、歩行が難しくなるので、スポーツ公園化されるときにアクセスについて改修をお願いします。

回 答

スポーツ整備計画については、平成の森公園について進めている所で来年度までかかるということになっています。1期目に平成の森公園、2期目にポリテクセンター、3期目に総合運動公園となっています。来年、平成の森公園の整備が終わったらポリテクセンターの買収にむけて計画を作っていくようになっています。

ポリテクセンター前の歩道が狭い、一段高くなっている件は改修していかなければならないと思っています。今やらなければならない部分をたくさん抱えていますので、いつできるかは言えませんが、危険が伴うというのであれば早くしなければならぬと思っています。

ます。

## 意見⑥

柳ヶ浦上拝田線や黒川線や駅前の整備など柳ヶ浦地区の整備をしていただきありがとうございます。柳ヶ浦が交通の中心の場になってくるということで、発展する期待度が大きいのではないかと思います。国の方は地方創生と言いながら、市民のところに地方創生の矢が伝わっていない、というか何をなすべきか理解ができないというのが実態です。もっと市民に地方創生宇佐市が生き残って行くにはこうと伝えてほしいと思います。定住満足度日本一、交流満足度日本一というスローガンがあるのでその地方創生にあったスローガンだと理解しています。

1 区には農事組合法人がありますが、高齢化があまりにも進みすぎている実態がある。認定農業者など書いていますが、このような手だてでは遅いのでは。どこかの町で株式会社を作った農業の方式というのを見ました。経済部長さんをお願いしたいのですが、株式会社方式というのも宇佐市農業への転換というのを作ってほしいと思います。今、若者が頑張っているのは味一ねぎと聞いています。米麦大豆だけでは、先行きが見えているし長い目でみたらある意味株式会社方式にせざるを得ない状況ではないかと提案します。

もう一つの提案ですが部長を専任制にしたほうがベストではないかと思います。あまりにも守備範囲が広くて、部長の兼任というのは部長のハードルが高いと思います。

## 回 答

地方創生についてですが、国が平成27年に打ち出してから、宇佐市も「まちひとしごと創生総合戦略」を作りました。2050年には3万3千人まで減っていると試算されました。宇佐市としてもなんとかこれを5万人台に留めたいと総合戦略を作りながら、人口維持には市民一体となつてしないと人口維持できないと考えています。今、事業が実施されつつあり、これまで子育て支援や企業誘致などのしかけをスタートしており、まちひとしごと総合戦略の中に6つ謳いこんでいるように安定した雇用の創出、新しい人の流れを作る、結婚出産子育てをかなえる、地域を作り地域と地域を連携する、若い人たちに残っていただき雇用の場を確保する、結婚していただく、子どもができる、育てやすい環境をつくっていく、こういったところが総合的に動いて行かないと何も事は運ばないと考えています。その一つとして本日のまちづくり懇話会で市の施策を説明し、理解していただきご協力をいただきたいと思います。また、市民に周知が足りないのではないかとすることは確かにご意見はあろうかと思いますが、しっかり人口を5万人維持するための施策を実施していきたいと思います。もっと皆さん方に伝わるように情報提供できるような推進の仕方を見直していきたいと思いますのでご理解をいただきたいと思います。

部長の専任については先輩から貴重なご意見をいただいただと思っています。今、職員数が666名で合併当時の820名から激減しています。国、県から事業や権限移譲など降りてきて、皆さん方過密なスケジュールの中で兼任というのは大変な業務だと理解しています。職員の組織機構のあり方含めて、次なる展開を模索しているところですので、本日の意見を参考にさせていただきたいと思います。

高齢化が進む中で宇佐市の財産である農地をいかに繋げていくか、重要になって行くか

と思います。株式会社方式というのも一つの案として検討させていただきたいと思います、ただ、宇佐市は山間部から平野部まで、広い用地がありますので、高齢化が進む中で地域に合った形で模索しながら農地をつなげていきたいと思います。市内でも、大区画の整備を行っており、全体的に貸し出し方式を作りながら出来るようにしていきたいと思っています。

#### 意見⑦

下水処理場が出来、34年度に始まると聞いていますが、排水を弁財川に流すようになっていきます。弁財川は今でも水が溢れて河西工業の前の市営住宅の排水路には台風の際は溢れて、水害が起こったあとは、大変なことになるのではないかと思います。とりえず排水工事が来年くらいからかかるのではと希望を持っているのですが、簡易的なものらしいです。4本くらい排水をして、現在1区の川部のところのような形になると思いますがそれで大丈夫なのかと思う。それが来年されるのかどうかお聞きしたい。

工事全体でそれぞれかかる家庭から拠出金、1平米400円、その計算で下水を流す流さないにかかわらず、前に下水が通るだけでも負担がかかるということは公平性あるのか、隣には人が住んでいないでもやってきているのか、拠出をされているのかお聞きしたい。

#### 回 答

弁財川のところに下水処理場の水を流します。弁財川の下流、河西工業のところには大雨が降ったら、水が溜まるということは伺っており、排水ポンプを使って排水するという方法がありますが、まずどれくらいの水が流れてくるのか、海の方にどれくらい水がくるのか、どれくらいのポンプが必要か、検討をしなくてはいけないと思います。雨水の処理もしなくてはならないので、この時に本格的な汚水処理の工事に入ることになると思います。いずれにしろ、調査が必要になると思います。受益者負担金平米400円については説明していますが、下水道事業は莫大な金額がかかります。利益を受ける方にそれ相応の負担をしていただくということで、受益者負担金をもらうようにしています。繋ぐ繋がないに関わらず、宅地であればかかることで、農地であれば宅地化されるまで流すのを猶予するという事です。流れる水が少なければ、下水処理場も動きません。稼働したらなるべく多くの人に繋いでいただきたいと思っています。

#### 意見⑧

理解は難しいのですが、負担をそんなにどこも気持ちよくだしていただいているのか。1区、2区はもう今年から合併浄化槽の補助金がでないということになったのではないかと思います。その辺やっているところはどうでしょうか。

#### 回 答

下水道工事の事業認可を取ると合併浄化槽の補助金は出なくなります。下水道に繋いでいただくこととなりますが、事業認可をとっても行きつくまで場所によっては数年かかります。その場合は、地区で回覧が終わったと思いますが、浄化槽を申請する場合は今なら早急につけて下さいとお願いしました。事業認可を取ったら国、県から補助金が出ません

ので公共下水道に繋いで頂きたい。また、下水管が入っていない箇所については負担金は発生していませんが、川部の5戸くらいは受益者負担金を支払ってもらっています。

#### 意見⑨

老人いこいの家は築30年になる。当時バリアフリーなどなく、トイレは水洗化されていないが、老人いこいの家は市の指定された避難場所になっている。公共下水ができるので市でどうにかしてもらえないかと言っている。お年寄りが利用しており、トイレが非常に困る。トイレだけでも対応してもらえないでしょうか。

#### 回 答

老人いこいの家のトイレの改修ですが、建設水道部長が説明しましたように、下水の区域に入っているので、浄化槽の設置は厳しい状況になっていますので、今この場で対応という返事は出来ない状況です。ご要望の趣旨は十分理解しています。

#### 意見⑩

先日の選挙で保護者が子どもを連れてきました。よく見ていると、何書いているのと覗き込んでおり、選挙教育をするのに5年先、10年先を考えるといい効果ではないかと思いました。

#### 回 答

昨年度から選挙権年齢が18歳になりました。これも若い人にも政治に興味をもったただき投票率を上げていくというのが一つの目標となっています。投票所の中で子どもさんを連れてということで、投票しやすい環境、子どもさん方に認識を持っていただく環境を作るという貴重なご意見なので選挙管理委員会とも検討させていただきたいと思います。ご意見として賜りたいと思います。

#### 全体の回答補足

柳ヶ浦小学校の通学路の件ですが、危険な箇所については早急に対応していきたいと思いますが、国の補助金は、市が要求している半分もつきません。公共事業は大きな災害に予算を持っていかれて、地方の生活道路の配分が減っている状況です。

小学校の防球ネットについてですが、学校の施設整備は耐震化をまず行い、エアコンの整備、プールの改修、その他に洋式トイレの改修を行うなど、いろんな学校の状況をみて方針をたてて行っています。防球ネットについては危険な状態だと判断されれば、対応しなくてはいけないと思いますが、施設整備の方針に沿っていかざるを得ないと思います。

JR柳ヶ浦駅については、本当に無人化が心配される場所です。大在や鶴崎は柳ヶ浦駅の3倍くらいの乗降客のいるところが無人化されるという方針が出されています。私どもの救いは、ななつ星の到着駅となりましたので、機会あるごとに重要性をJRに訴えていきたいと思っています。駅の整備計画につきましては、今年度国に認可申請をするようにしていますので、来年から設計などに着手できると思います。駅舎の整備や北側のロータリーの整備も予定していますので、見栄えが変わってくると思います。

ポリテクセンターもサッカーのグラウンドを作りましたが良く利用していただいています。院内平成の森を整備していますが、そちらが終わってからポリテクのほうに移っていくことになっています。アクセスについては、その時点で必要であれば手を加えていきたいと思います。

地方創生については、ソフト事業中心で、ハードについては投資が生まれて雇用が生まれて独り立ちが出来るようにしなさい、できたら民間を入れなさい、というハードルが高く求められています。全体として自分たちの生活感が良くなったとか、目に見えて地方創生しているとか、なかなか見えづらい状況だと思っています。平野部の農業振興は川部で1町単位の大区画の工事をしています。やがて柳ヶ浦にも広げたいと思っています。宇佐の平野部は駅館川の総合開発でいち早く区画整理をしたわけですが、施設が老朽化しています。今、国や県と話をしているのは、施設園芸など高規格化していく方向と、大規模化して農業コストを下げっていく方向の2つです。今後、国が調査に入って、宇佐市の農業を再生していこうとしており、みなさんのご意見を聞く機会があると思います。

下水の関係は河西工業から聞いていますので、何らかの対策をしていかななくてはいけないと思います。処理場が出来るのはまだ先の話なので、当面水が出るのであれば応急対応を考えますが、本格的な排水ポンプはこの事業の中でするようにしています。

地元で工場の誘致を、はその通りだと思います。大学は子どもの数が減ってきていますので、新設の誘致は難しいかなと思います。ただ、工場は最近引き合いが多く、マブチ進出予定地を市で買戻したところ、三光合成さんが進出することとなりました。下拝田のところも造成にかかっています。海外で設備投資しようとしていたところが国内に戻って来ています。問題は人がいないということで、今地元から外に出ようとしている人に地元で仕事があるというメッセージを伝えることと、地元に戻ったら仕事があるよと戻ってこさせるところに力を入れているところです。

選挙の話については選挙管理委員会にお伝えしたいと思っています。